2017 年末~2018 年始における山の気象の記録

2018年3月 (公社) 東京都山岳連盟 気象委員会

東京都山岳連盟に加盟している団体及び個人会員の協力により、2017 年末~2018 年始における山の気象データを収集した。そのデータをまとめた資料を作成したので、気象遭難事故防止や冬山気象の研究に活用していただきたい。

期間概況

今年の年末年始の前に当たる12月22日には、長野県下の四阿山付近において遭難事故が発生し、23日には西穂高岳独標付近で滑落事故、そして年末に近くなって27日には八ヶ岳連峰の東天狗岳でも強風と降雪に見舞われ2名の男女が凍死症による遭難事故が起きた。

年末年始に入ると12月31日に白馬乗鞍岳付近にて、3名のスキーヤーによる道迷いによって行動不能となったり、また燕岳付近で1名の男性が吹雪と疲労(凍傷)とによって、遭難事故が起きた。以上のこの期間、日本付近は冬型の気圧配置が続き、各山域では季節風の吹き出しによる悪天(風雪)が続いた。そして、1月1日には八ヶ岳連峰の横岳付近では2名の男女が疲労と寒気により、行動不能となったが無事救出された。以上のように年末頃から年始にかけて長野県下の山域では遭難事故が多発したと、長野県警から公表された。

その中でも12月27日と1月1日の八ヶ岳連峰(東天狗岳・横岳)における遭難事故と燕岳の遭難事故は、山の悪天の対応が大きく影響しているように考えられる。

各日毎の気象状況(山のライブカメラと実測)

•12月26日

日本付近の気圧配置は西高東低の冬型気圧配置となっており、日本海側の山域では雪雲がかかっている。太平 洋側では快晴の天気になっており、富士山もほとんど雲はない。しかし、八ヶ岳においては季節風の影響をうけ て稜線部は雪雲がかかっている。

・12月27日~28日

両日とも気圧配置には変化はなく、天気の変化も同様。

•12月29日

日本付近の気圧配置がようやく変化をみせ、冬型が緩みはじめた。このため後立山連峰方面では雪雲も切れはじめ、姿を見せはじめたが、燕岳周辺では雪雲が取れず、強風が吹いていた。一方、太平洋側の山域に当たる八ヶ岳では雪雲も切れはじめ、稜線部も見えはじめてきた。富士山は相変わらず快晴の天気。

•12月30日

冬型の気圧配置もかなり緩み、季節風も弱まって後立山連峰方面も姿を現し始めたが燕岳周辺では、まだ雪雲がかかっていたが、風は弱まってきた。槍ヶ岳や上高地でも晴れ間が見えはじめ、徳沢園方面でも晴れてきた。一方、八ヶ岳方面では雪雲は取れ、富士山と共に快晴の天気となる。

•12月31日

しばらく続いた冬型の気圧配置もおさまり、日本海には低気圧が現れて、日本付近の天気も冬型が消え日本海側の山域でも全般に雪雲が消えたが、日本海側の山域ではまだ雪雲が残っている所もあり、中房温泉付近でも雪雲におおわれていた。

上高地周辺では曇り空となり、午後は雪がチラツク程度になる。しかし、上高地周辺の標高の高い稜線(森林 限界以上)では強風が吹いている。尚、冬型の気圧配置で天気の良かった富士山や八ヶ岳では雲が多くなった。

•1月1日

日本海にあった低気圧は次第に日本列島から東に進み、気圧配置は次第に冬型となりつつあり、有明山の中房 温泉付近でも次第に雪雲が現われはじめた。上高地では曇りがちの天気で時々晴れ間の出る天気となる。 一方、富士山や八ヶ岳方面では次第に雲が取れはじめる。

•1月2日~4日

日本付近の気圧配置は冬型となったが、槍ヶ岳のライブカメラによると、かなり晴れ間のある天気があったようにみえる。他の山域でははぼ冬型の天気分布を示している。(燕岳周辺でも連日吹雪)

(文責 城所 邦夫)

2017 年末~2018 年始の山の気象データ

北アルプス 蝶ヶ岳

(東京都山岳連盟所属 アルプス灯会)

山域	12月30日	12月30日	12月30日	12月30日
(上高地・蝶ヶ	(時刻:9:00)	(時刻:12:00)	(時刻:15:00)	(時刻:18:00)
岳)				
場所	大正池	上高地付近	徳沢園	徳沢園
天気	晴れ	晴れ	快晴	晴れ
積雪状況	雪少ない	雪少ない	膝ぐらい	膝くらい
気温	不明・暖かい	不明・暖かい	不明・暖かい	不明・暖かい
風向・風速	風無し	風無し	風無し	弱い風
気圧	高気圧帯	高気圧帯	高気圧帯	夜にかけて低気圧
				近づく
その他 (雲や夜空	雲はちらほらだ	雲も無くなってき	夕方にかけて天気	夜にかけて、次第
の様子、湿度な	が、焼岳・穂高と	た。穂高山頂付近	が回復し、穂高の	に風も吹き始め、
ど)	もきれいに見え	に雲がかかり始め	雲もなくなる。快	雲も厚くなり、天
	る。	る。でも晴れ。	晴。	気が崩れる。
	The second second	1000		
	and the same			
			THE STREET	

山域	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
(上高地・蝶ヶ	(時刻:6:00)	(時刻:9:00)	(時刻:12:00)	(時刻:15:00)
岳)				
場所	徳沢園	1800m 付近	山頂手前・森林限 界付近	徳沢園
天気	曇り	曇り	曇り	雪
積雪状況	膝くらい	膝くらい	膝くらい	膝くらい
気温	不明・寒い	不明・寒い	不明・寒い	不明・寒い
風向・風速	風は弱い	風が次第に強くな る	森林限界抜けると 強風・撤退	下山したが、風は 強いまま
気圧	低気圧が近づく	低気圧が近づく	低気圧帯	低気圧帯
その他 (雲や夜空 の様子、湿度な ど)	昨日の天気とは 大きく変化し、穂 高はまったく見 えない	ガスが濃くなり、 風も出てくる。今 にも雪が降りそ う。	森林限界に近づくと、風がより強くなる。強風で下山する人も	2時ぐらいから、 雪が降り始める。

山域(上高地・蝶ヶ	12月31日 (時刻:18:00)	1月1日 (時刻:8:00)	1月1日 (時刻:11:00)	1月1日 (時刻:14:00)
岳) 場所	徳沢園	徳沢園	上高地	釜トンネル
天気	雪が降ったり止 んだり	曇り	曇り・時々日差し	曇り
積雪状況	膝くらい	膝くらい	雪少ない	雪少ない
気温	不明・寒い	不明・寒い	不明・寒い	不明・次第に暖か くなる
風向・風速	風は次第に収ま る	弱い風	弱い風	弱い風
気圧	低気圧帯	低気圧が離れてい く	低気圧がはなれ気 圧も上昇	気圧上昇
その他 (雲や夜空 の様子、湿度な ど)	雪は夕方一時的 にやんだが、夜半 にかけて、また降 りだす。	10-20cm の積雪。 トレースもなくな る。	時おり、東の空の 雲が切れ、日があ たる。穂高は見え ない。	高度が下がるためか、次第に暖かくなる。雲は切れない。

北アルプス 中房温泉・燕山荘 (東京都山岳連盟 気象委員会 提供:中房温泉)

40//4//	1 \(\sigma\) \(\sigma\) \(\sigma\)			1/CD/ • 1//2/mm/1/
山域 (中房温泉)	12月29日 (時刻:6:00)	12月30日 (時刻:6:00)	12月31日 (時刻:6:00)	1月1日 (時刻:6:00)
天気	ガス	ガス	ガス	ガス
気温	−12°C	-2°C	−3°C	0°C
風向·風速		弱い	弱い	強い
その他				

山域 (中房温泉)	1月2日 (時刻:6:00)	1月2日 (時刻:8:00)	1月2日 (時刻:11:00)	1月3日 (時刻:6:00)
天気	曇りのち晴れ	晴れ	快晴	
気温	-8°C			-12℃
風向·風速				時折強い
その他				

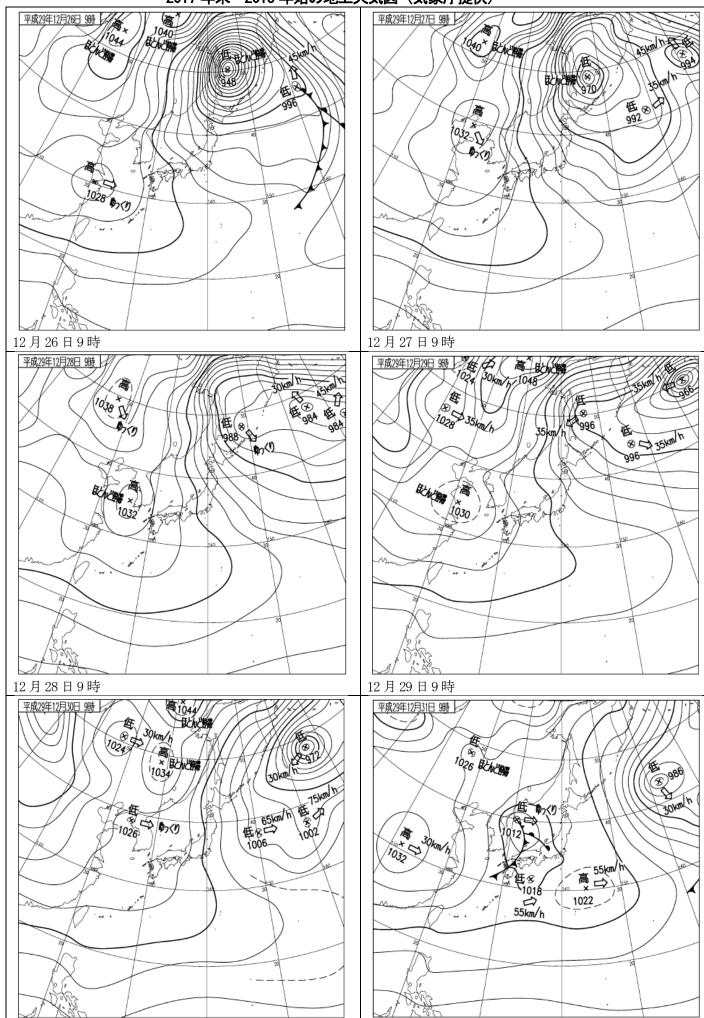
山域 (中房温泉)	1月3日 (時刻:23:00)	1月4日 (時刻:6:00)	1月4日 (時刻:午前中)	1月4日 (時刻:12:30)
天気	快晴	快晴	時々雪	青空見える
気温	_	−11°C		
風向·風速	時々3~4m	弱い		
その他				

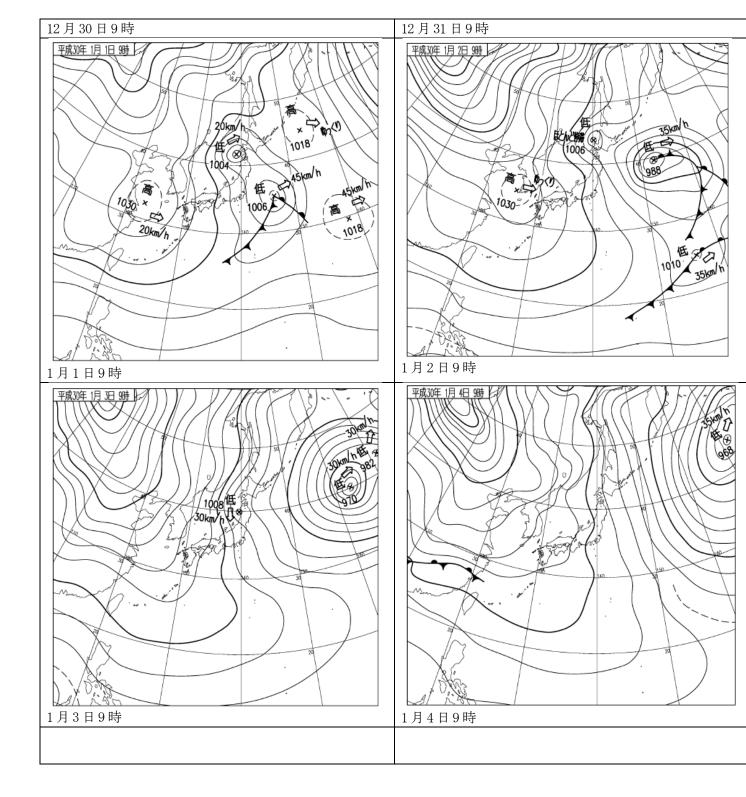
山域 (中房温泉)	1月4日 (時刻:23:00)	1月5日 (時刻:6:00)	1月5日 (時刻:午前中)	1月5日 (時刻:23:00)
天気	快晴	高曇り	晴れ	快晴
気温		−12°C	−10°C	
風向・風速	無風	弱い	弱い	無風
その他				

山域 (燕山荘)	12月29日 (時刻:6:00)	12月30日 (時刻:6:00)	12月31日 (時刻:6:00)	1月1日 (時刻:6:00)
天気	ガス	ガス	ガス	吹雪
気温	-15°C	−12°C	−12°C	-10°C
風向・風速	15~20m	弱い		強い
その他				

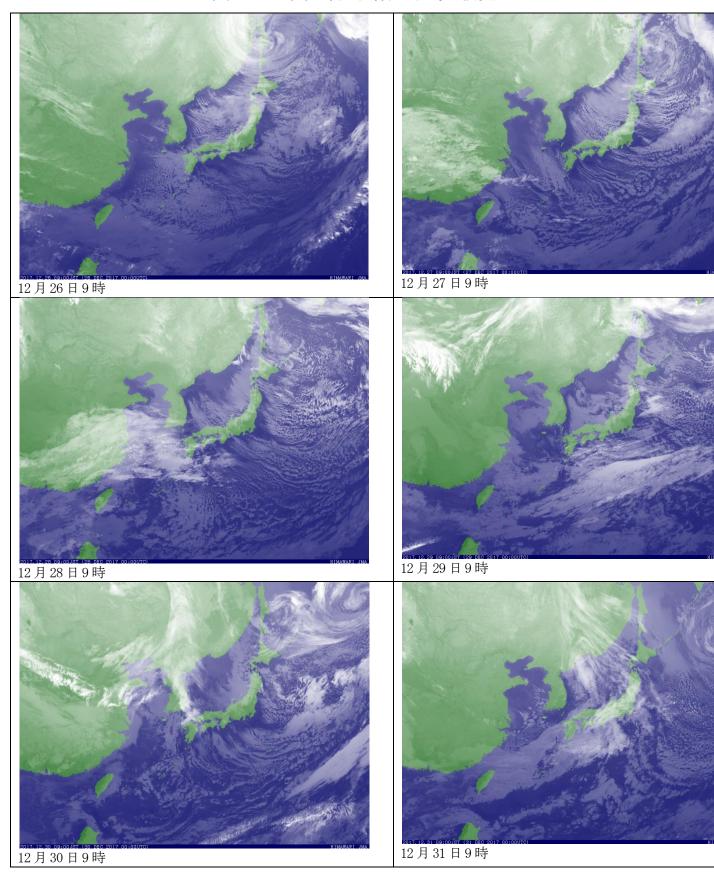
山域 (燕山荘)	1月2日 (時刻:6:00)	1月3日 (時刻:6:00)	1月4日 (時刻:6:00)	1月5日 (時刻:6:00)
天気	吹雪		ガス	曇り
気温	-15°C	−19°C	−19°C	−15°C
風向·風速		20m		
その他		吹溜り 20cm 積雪		

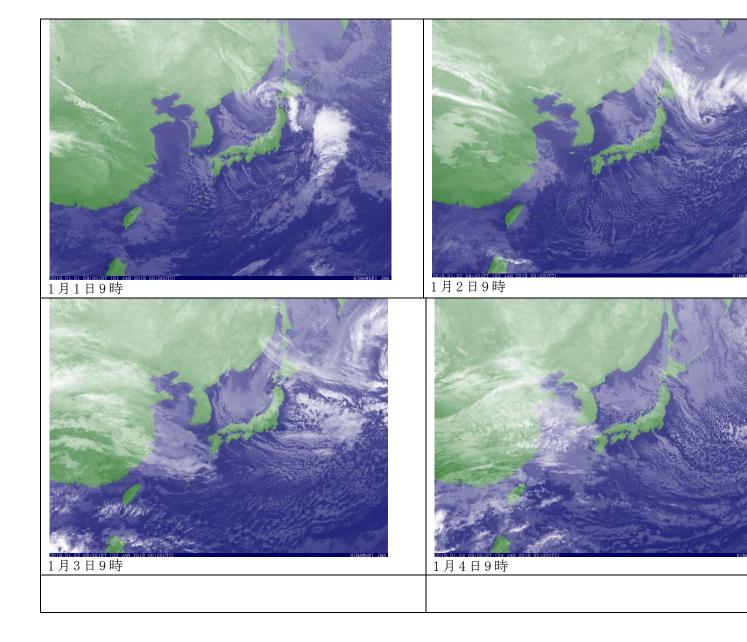
2017年末~2018年始の地上天気図(気象庁提供)



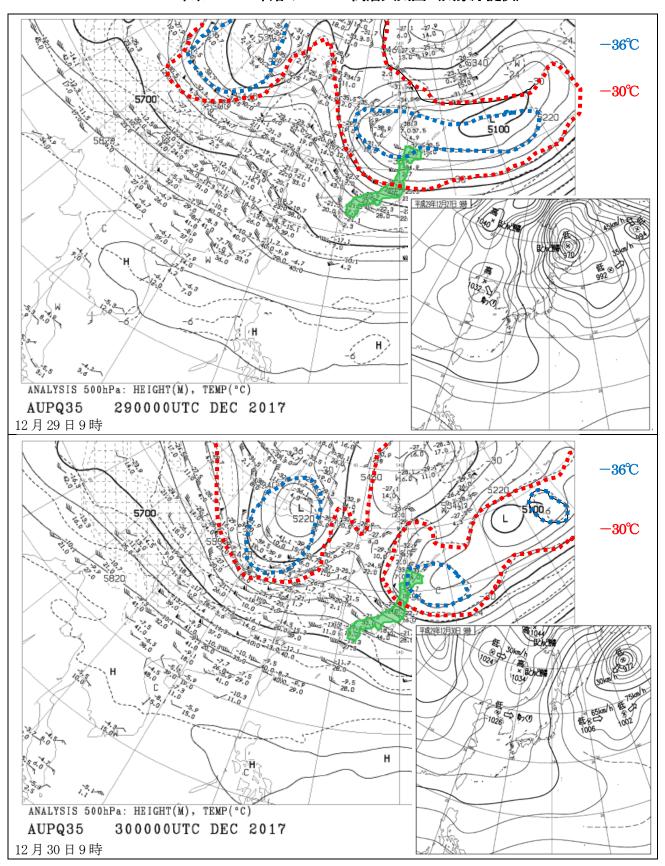


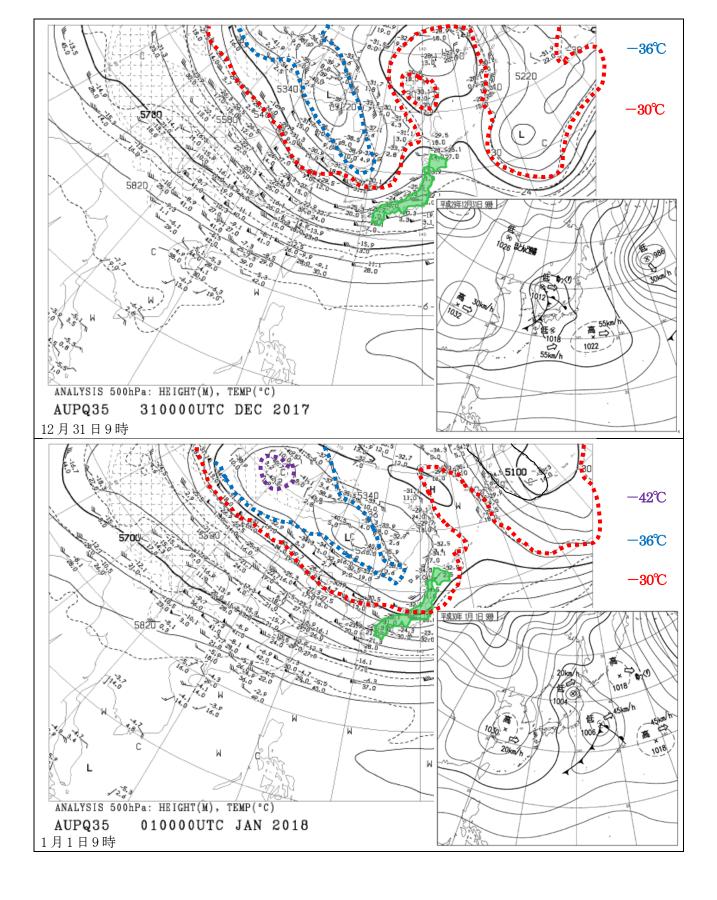
2017年末~2018年始の衛星画像図(気象庁提供)

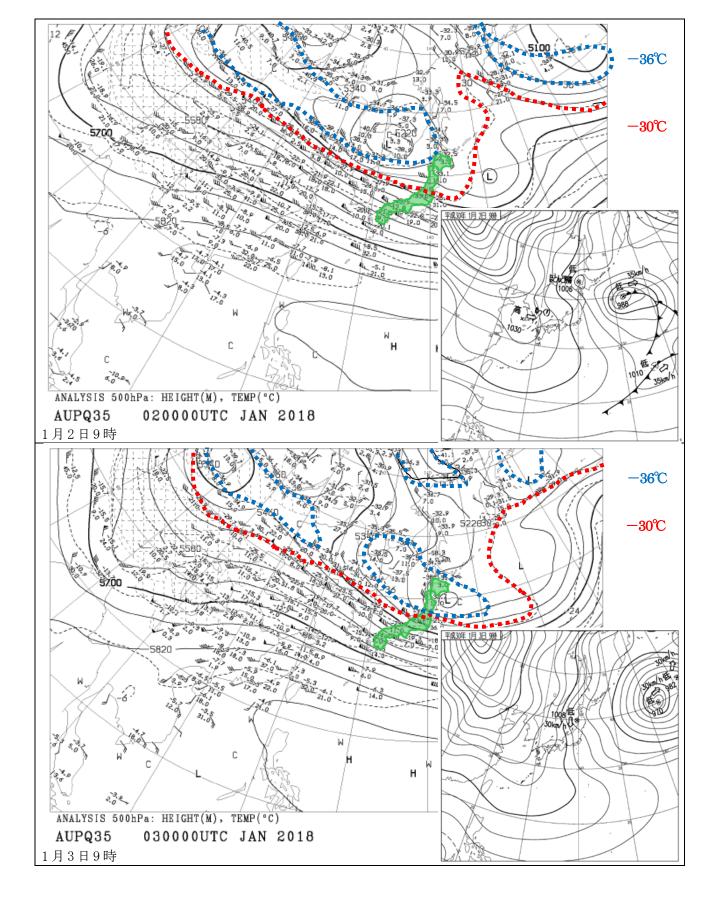




2017 年末~2018 年始の 500hPa 高層天気図 (気象庁提供)







2017年末~2018年始の富士山の気象データ(気象庁提供)

